2: データの操作(DML)入門1

user: world_user 製作:清水健二 pass: worldxxx

grant all on world.* to 'world_user'@'localhost' identified by 'worldxxx';

DML(データ操作言語) mysql -u world_user -p

SQLの中でも、データを操作するために使用するものを、特にDML(Data Manipulation Language, データ操作言語)と呼びます。いわゆるプログラマが書くSQLとはこのDMLを指すことが多いです。

サンプルデータベースの準備

ここでは、MySQL公式のサンプルデータベース「world」を使用します。

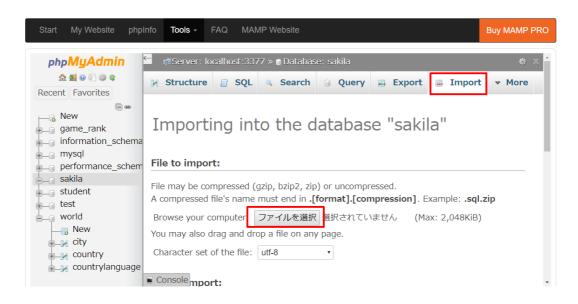
https://dev.mysql.com/doc/index-other.html

worldデータベースは世界各国の人口や都市データを閲覧することができます。

PHPMyAdminでSQLファイルをインポートする

MariaDB> source world.sql

ダウンロードしたworld.sql.zipまたはworld.sqlをPHPMyAdminで新規データベースとしてインポートします。



以下の手順でファイルのインポートを行います。

- 1. Import タブをクリックする
- 2. ファイルを選択ボタンをクリックする
- 3. 予め用意した'world.sql.zip'を選択する
- 4. 画面一番左下のGOボタンをクリックする
- 5. ブラウザの画面を更新する

画面右のデータベース一覧にworldデータベースが追加されていれば成功です。

テーブル内のデータを検索する

データを検索する(SELECT文)

テーブル内のデータを表示する際には、SELECT文を使用します。「SELECT」の後に取得する列名を指定し、取得元のテーブル名をFROM句で指定します。

SELECT [列名(※複数ある場合は「,」で区切る)] FROM [データベース名].[テーブル名];

なお、列名に「*」を指定すると、テーブルにある全ての列の値を取得します。ただし、実行パフォーマンス の問題もあるため、なるべく使用しないようにしている開発現場もあります。

SELECT * FROM [データベース名].[テーブル名];

※データベース名は省略可能。以下同じ。

ここではデータベースWorldを使用します。下記のコマンドを実行してください。

USE world;

ex.世界の国データをすべて表示する

入力は全部、小文字でよい。

全部小文字でも大丈夫かな?

SELECT * FROM country;

大量の国データが表示されれば成功です。

ex.世界の国名と人口のみ表示する

SELECT Name, population FROM country:

国名と人口のみが表示されれば成功です。

検索の条件指定

検索結果を絞り込む(WHERE句)

テーブル内のデータのうち、特定の条件を満たす列のみ表示する場合は、WHERE句に条件を記述します。

SELECT [列名(※複数ある場合は「,」で区切る)] **FROM** [データベース名].[テーブル名]

| WHERE 「条件(※複数ある場合は「 AND 」(かつ)、もしくは「 OR 」(または)で区切る)];

ex.日本のデータのみ表示する

半角空白で区切るとよい

SELECT * FROM Country WHERE Name='japan';

国名がjapanのデータのみ表示されます

ex.東アジアのデータのみ表示する

SELECT * FROM Country WHERE Region='Eastern Asia';

東アジアのデータのみ表示されます。

WHERE条件の種類

完全一致([列名] = [値])

ex. 国コードが「JPN」の国のデータを表示する

SELECT * FROM Country WHERE Code = 'JPN';

ex. 国コードが「JPN」の都市のデータを表示する

```
SELECT * FROM City WHERE CountryCode = 'JPN';
```

ex.大陸が「Europe」または「Asia」の国名を表示する

SELECT Name FROM Country WHERE Continent='Europe' OR Continent='Asia';

範囲指定(「列名] > [値])

※原則、数値型・日付型の値のみに使用します。使用する不等号は、「>」、「<」、「>=」「<=」のいずれかです。

ex. 独立年が1960年以降の国の、国名と独立年を表示する

SELECT Name,IndepYear FROM Country WHERE IndepYear >= 1960;

ex.人口が1億以上の国の国名を表示する

SELECT Name FROM Country WHERE Population >= 1000000000;

ex.人口が5000万人以上でかつ「Eastern Asia」の国の国名だけ表示する

SELECT Name FROM Country WHERE Population >= 50000000 AND Region='Eastern
Asia';

部分一致([列名] like '[条件文字列]')

※条件文字列によるパターンマッチングを行います。

「%」「」をワイルドカードとして使用できます。

%・・・0文字以上の任意の文字列

_・・・任意の1文字

ex. 国名が「A」で始まる国のデータを表示する

SELECT * FROM Country WHERE Name like 'A%';

ex.国名が「korea」で終わる国のデータを表示する

SELECT * FROM Country WHERE Name like '%Korea';

ex. 国名に「Republic」を含む国のデータを表示する

SELECT * FROM Country WHERE Name like '%Republic%';

複数の検索条件を指定する(IN)

複数の検索条件はOR句でも指定できますが同じフィールド内の複数検索条件の場合は、IN()句を使うと便利です。

ex.国コードが「JPN」、「USA」、「GBR」の国名を表示する

SELECT Name FROM Country WHERE Code IN('JPN', 'USA', 'GBR');

検索結果の行数を制限して表示

検索結果の行数制限(LIMIT句)

上位〇〇件など、表示される行数を制限したい場合はLIMIT句を使います。

```
SELECT [列名] FROM [テーブル名] LIMIT [行数];
```

ex.国データを10件だけ表示する

```
SELECT * FROM Country LIMIT 10;
```

ex. 国コードが「JPN」の都市のデータを20件表示する

```
SELECT * FROM City WHERE CountryCode = 'JPN' LIMIT 20;
```

検索結果の並べ替え

検索結果を昇順、降順に並べ替える(ORDER BY句)

検索結果の並び替えには、ORDER BY句を使います。

```
SELECT 「列名] FROM [テーブル名] ORDER BY 「列名] 「並び順]
```

並び順・・・昇順(ASC)※省略可能、降順(DESC)

ex. 国のデータの国名を人口の少ない順(昇順)に表示する

SELECT Name, Population FROM Country ORDER BY Population;

ex. 国のデータの国名を独立年が新しい順(降順)に表示する

```
SELECT Name, IndepYear FROM Country ORDER BY IndepYear DESC;
```

ex.国のデータの国名と平均寿命を、平均寿命の高い順(降順)に10件表示する

SELECT Name, LifeExpectancy FROM Country ORDER BY LifeExpectancy DESC LIMI T 10;

検索結果の重複を排除して表示

検索結果の重複を排除(DISTINCT句)

重複した検索結果を排除したい場合は、SELECTの後にDISTINCTを付けます。

```
SELECT DISTINCT [列名] FROM [データベース名].[テーブル名];
```

ex.国のデータから大陸名の重複を排除して表示する

```
SELECT DISTINCT Continent FROM Country;
```

ex.国のデータから地域名の重複を排除して、地域名、大陸名を表示する

```
SELECT DISTINCT Region, Continent FROM Country;
```

ex.都市のデータから国コードが「JPN」の地区県名の重複を排除して表示する

SELECT DISTINCT District FROM City WHERE CountryCode='JPN';